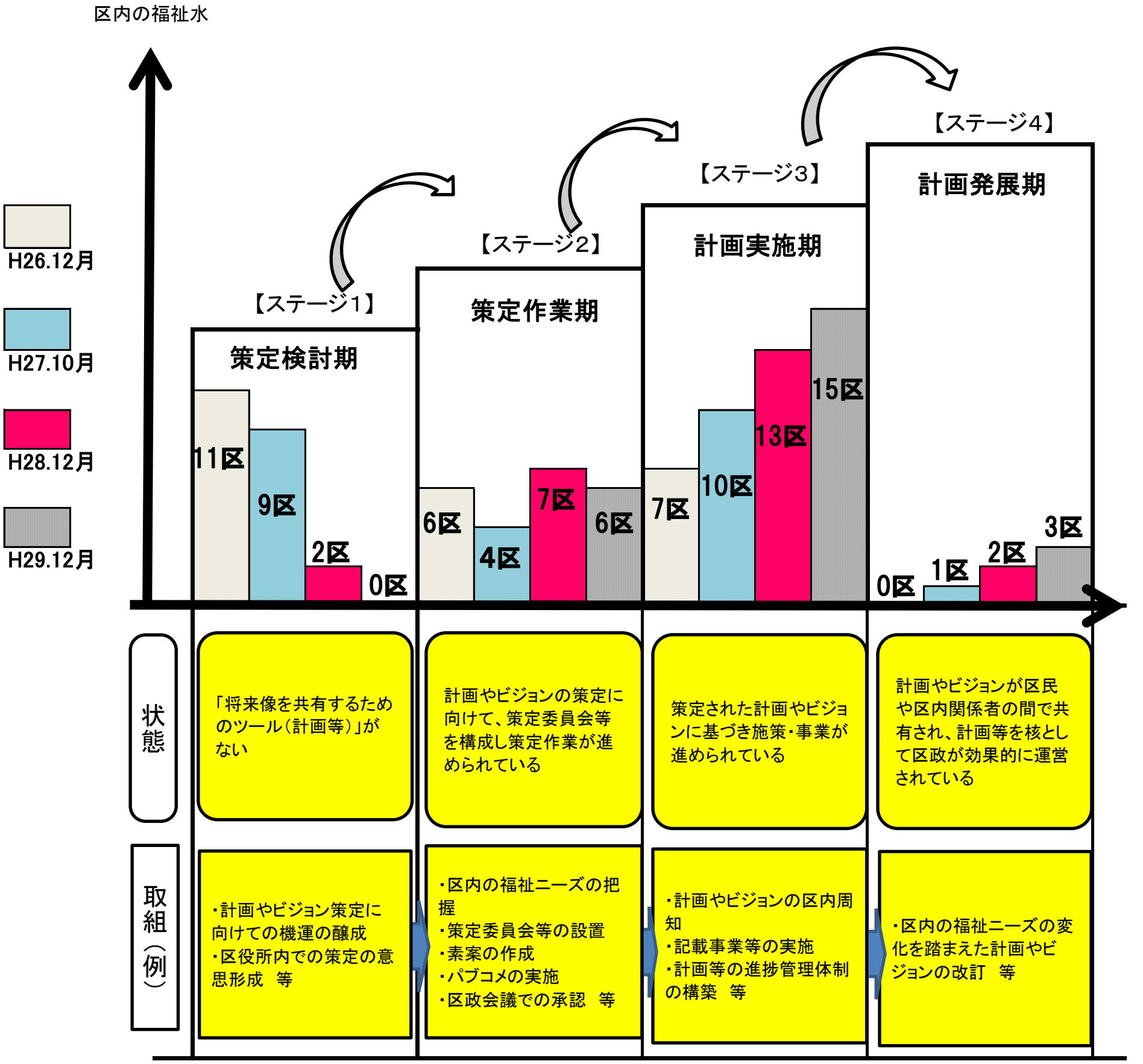
資料６－３

福祉分野における「各区の特色ある自律した区政運営」の発展プロセス
【イメージ】

課題①　福祉に関する将来像（ビジョン）の区民・関係機関・団体等との共有



取組の現状、今後の方向性等

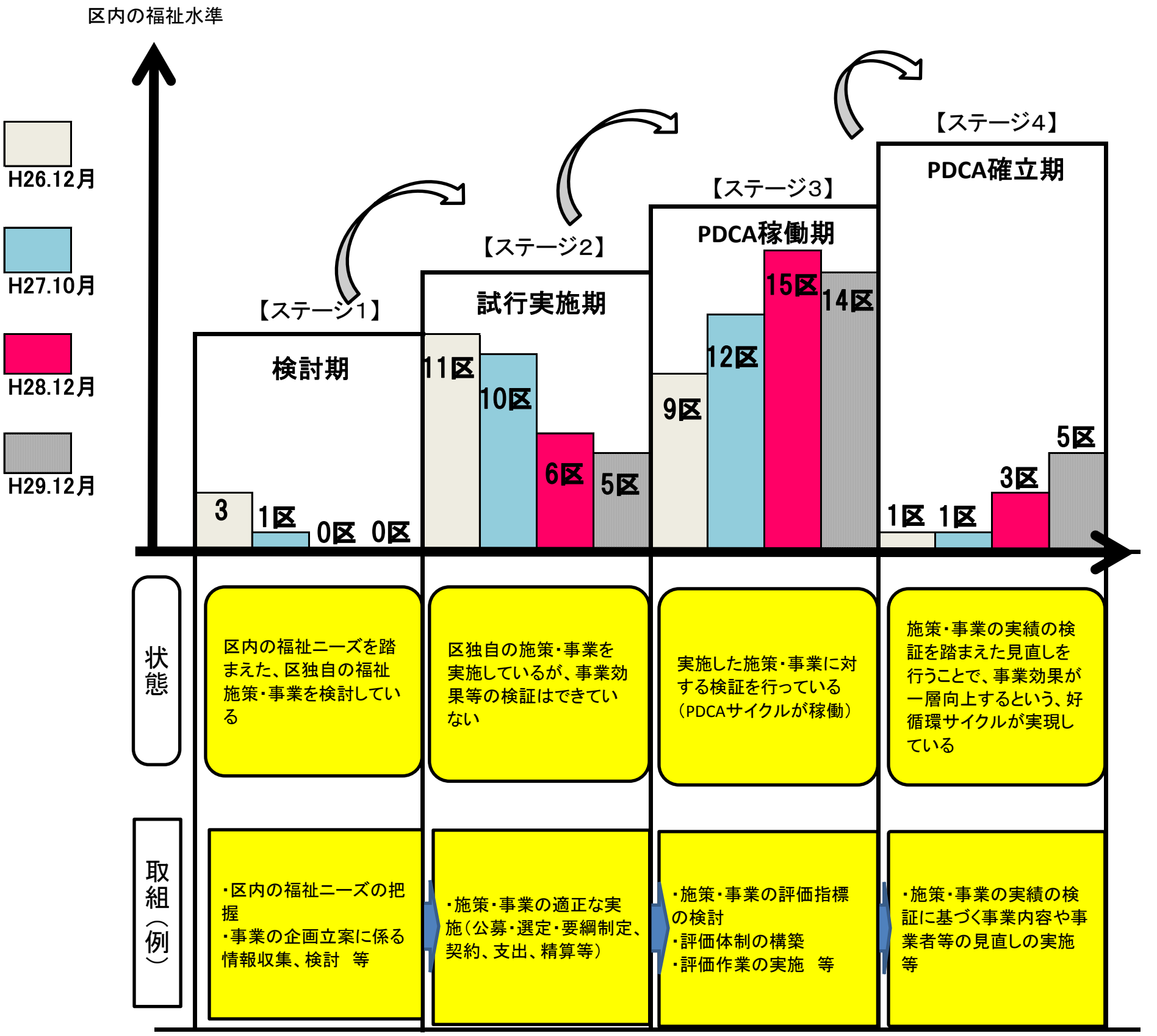
・昨年度2区あった策定検討期の区はなくなり、全ての区が策定作業期以上のステージとなっています。

・「福祉に関する将来像（ビジョン）（区地域福祉計画等）は、区の実情や特性に応じた、地域福祉を推進するための中心的な計画です。

・区地域福祉計画等を区民や福祉サービス事業者、地域団体など区内の関係機関・関係団体・関係者との間で共有することが、区政運営を考えるにあたり非常に重要であり、早期に全ての区で策定されるよう引き続き支援を行います。

・また、計画実施期の区については、引き続き区地域福祉計画等を核とした区政が効果的に運営されるよう、また、区政の福祉ニーズの変化を踏まえた区地域福祉計画等の改定が行えるよう支援を行います。

課題②　福祉施策・事業の実施に係るPDCAサイクルの確立



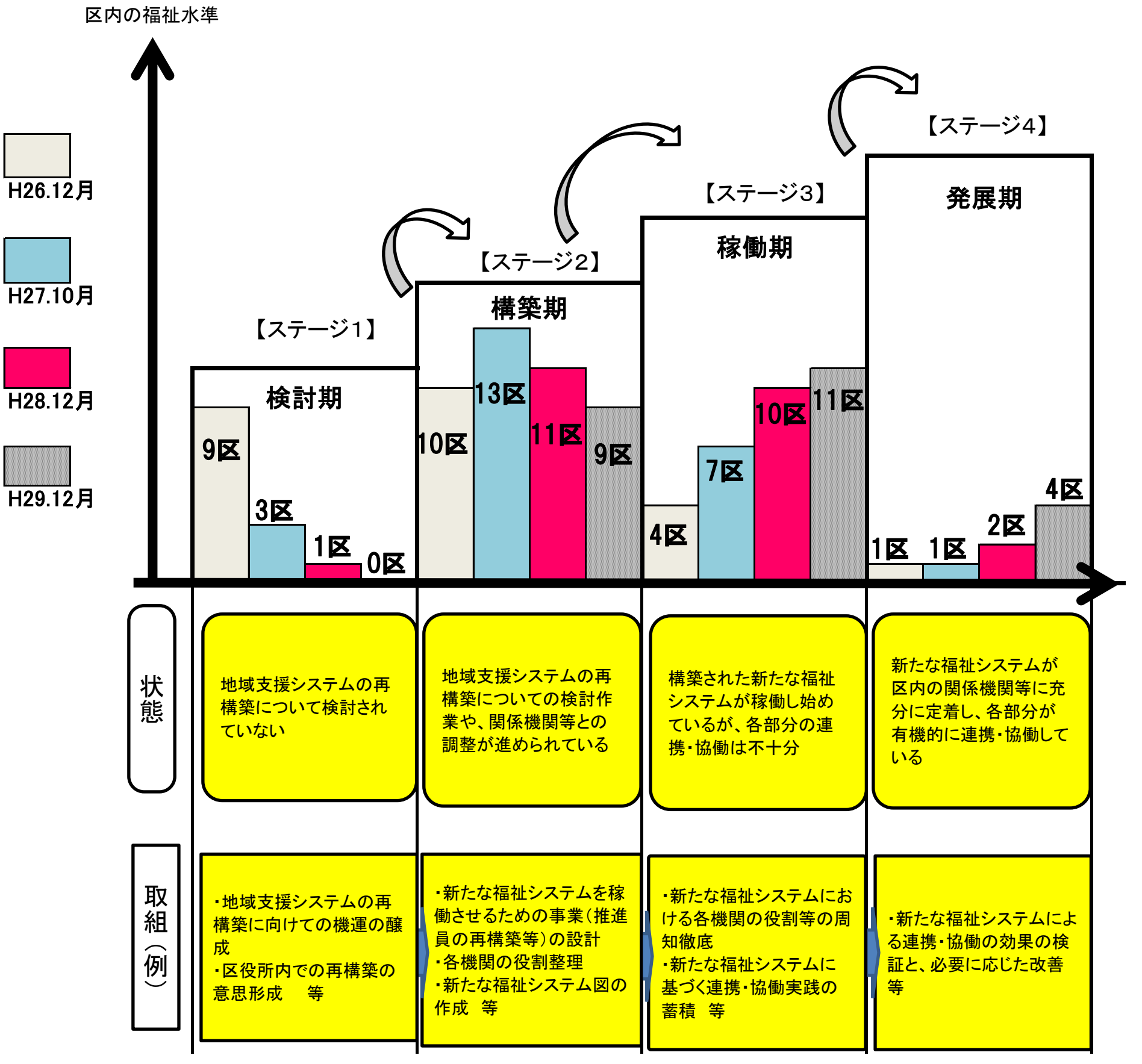
取組の現状、今後の方向性等

・大半の区において、PDCAサイクルが稼動し、一部の区においては事業の実績の検証を踏まえた見直しや新規事業の実施を行うなど着実に好循環サイクルが実現してきています。

・行政運営においては、限られた職員・予算の中で業務を見直し、無駄を無くすことによって、様々な環境の変化に対応しながら、市民サービスの維持・向上を図ることが求められています。

・今後、特に事業効果等の検証が十分にできていない試行実施期の区を中心に、早期にPDCAサイクルを確立できるよう支援を行います。

課題③　区民・関係機関・団体等との連携・協働を可能とする福祉システムの構築



取組の現状、今後の方向性等

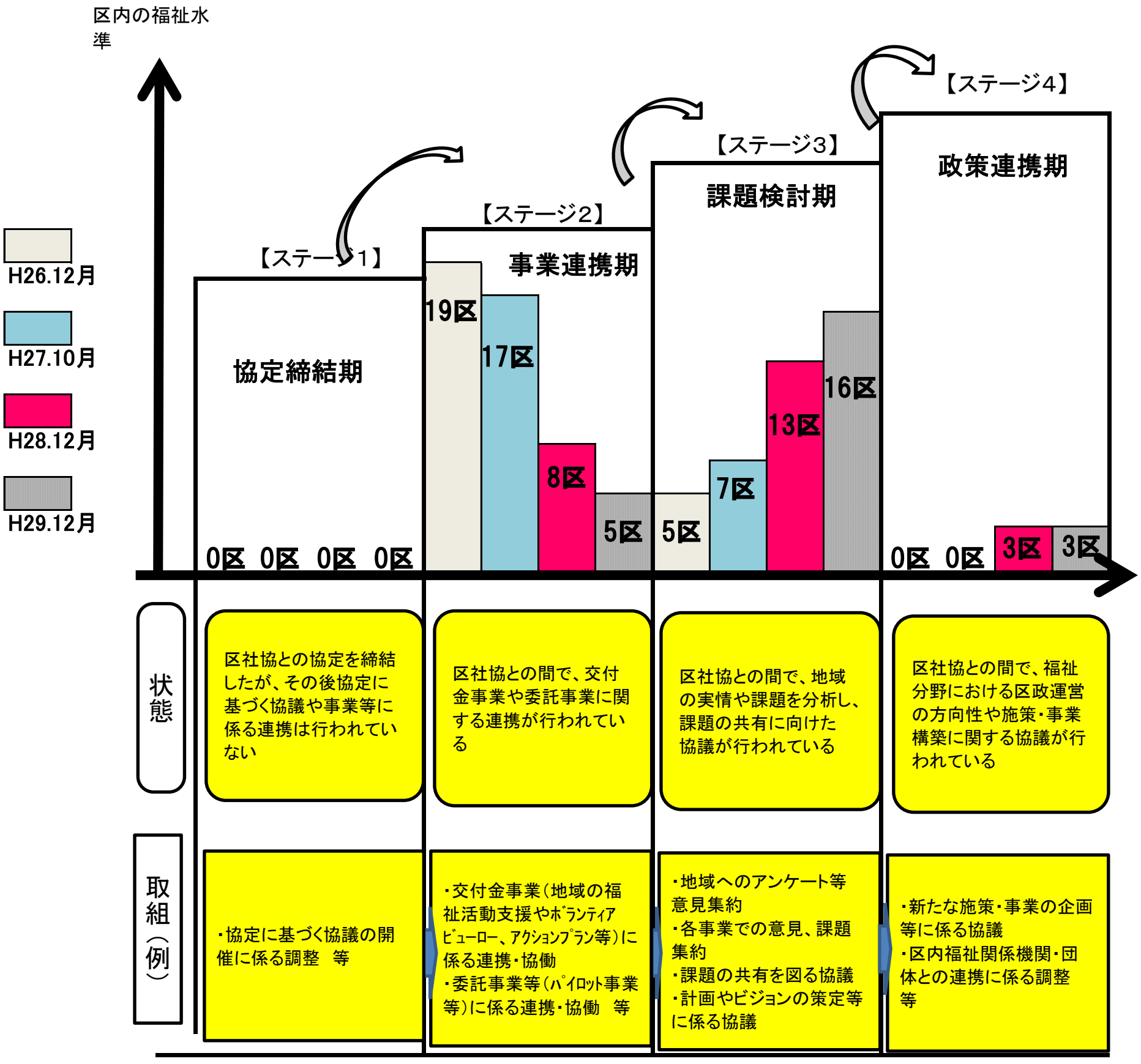
・昨年度1区あった検討期の区はなくなり、全ての区が構築期以上のステージとなっています。

・身近な地域で取り組んでいる地域福祉活動を通じて把握された、地域課題やニーズについて、住民同士で共有し、話し合い、地域全体で解決に向け取り組むことが大切です。

・また、複雑化・多様化・深刻化する福祉課題に対して、各機関が単独で行える支援には限界があり、連携・協働するためのしくみが不可欠です。

・さらに、地域の取り組みのみで解決することが困難な課題については、行政の施策につなぐしくみが重要となるため、福祉システムの構築が求められます。

課題④　区社協との連携による区内の地域福祉力の向上



取組の現状、今後の方向性等

・全体的にステージがあがっており区社協との連携が深まっています。

・区社協は、住民による小地域の福祉活動をサポートし、また、区内の社会福祉事業者等を束ねる中間支援組織としての役割を果たしています。

・区社協が有する中間支援組織としての知見やネットワークを活かし、地域福祉を推進する取り組みを区社協と協働して取り組むことが必要です。